

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記
 1: 意見及び異議受付期間は、令和3年4月1日～令和3年4月30日
 2: 区分aは、JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載
 3: 区分bは、制定、改正の別を記載
 4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格番号等	JIS規格原案等の名称	JIS規格原案等の英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	原案作成者	
1	JIS	制定		油圧・空気システム及び機器—図記号及び回路図—第3部:記号モジュール及び図記号の接続	Fluid power systems and components — Graphical symbols and circuit diagrams — Part 3:Symbol modules and connected symbols in circuit diagrams	この規格は、油圧・空気システム及び機器の記号モジュール及び図記号の接続について規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 1 適用範囲 2 引用規格 3 用語及び定義 4 記号モジュール作成の規則 5 回路図における記号モジュールの使い方の規則 6 記号モジュールを使用した回路図の例 7 規格適合表示		ISO 1219-3:2016, Fluid power systems and components — Graphical symbols and circuit diagrams — Part 3:Symbol modules and connected symbols in circuit diagrams (MOD)	一般社団法人日本フルードパワー工業会	一般財団法人日本規格協会
2	JIS	制定		工作機械—環境評価—第3部:金属切削工作機械のエネルギー効率に関する試験の原則	Machine tools — Environmental evaluation of machine tools — Part 3: Principles for testing metal-cutting machine tools with respect to energy efficiency	この規格は、JIS B 0955-1:2020に基づく省エネ設計方法、及びJIS B 0955-2:2021で定義された工作機械及びその構成要素に供給されるエネルギーの測定方法を補完する。この規格は、加工工程表に基づいた使用段階における工作機械の環境評価について規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 1 適用範囲 2 引用規格 3 用語及び定義 4 工作機械の環境評価の一般的な手順 5 環境評価のための工作機械の分析 6 加工工程表		ISO 14955-3:2020 Machine tools — Environmental evaluation of machine tools — Part 3: Principles for testing metal-cutting machine tools with respect to energy efficiency(IDT)	一般社団法人日本工作機械工業会	一般財団法人日本規格協会
3	JIS	制定		摩擦ベルト伝動—Vベルト及びプーリ溝部—形状・寸法	Belt drives – V-belts and corresponding V-pulley grooves – Shapes and Dimensions	この規格は、主に自動車、農機用内燃機関などの一般産業機器に用いられる補機類(冷却ファン、オルタネータ、水ポンプ、コンプレッサ、パワステアリング用ポンプなど)の駆動に使用するVベルト及びプーリに関し、次の項目について規定する。 — 形状の種類及び寸法 — 寸法の測定方法 — 製品の呼び方	主な規定項目は、次のとおり。 1 適用範囲 2 引用規格 3 用語及び定義 4 記号 5 ベルト 6 プーリ 7 測定方法 8 製品の呼び方		ISO 2790:2020, Belt drives – V-belts for the automotive industry and corresponding pulleys – Dimensions(MOD)	日本ベルト工業会	一般財団法人日本規格協会
4	JIS	制定		摩擦ベルト伝動—Vベルトの疲労試験方法	Belt drives-V belts- Fatigue test	この規格は、主に自動車、農機用内燃機関などの一般産業機器に用いられる補機類(冷却ファン、オルタネータ、水ポンプ、コンプレッサ、パワステアリング用ポンプなど)の駆動に使用するVベルトの疲労試験方法について規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 1 適用範囲 2 引用規格 3 用語及び定義 4 記号 5 試験方法 6 試験報告		ISO 5287:2003, Belt drives – Narrow V belts for the automotive industry – Fatigue test(MOD)	日本ベルト工業会	一般財団法人日本規格協会
5	JIS	制定		建築物ガラスの曲げ強度試験方法—第3部:4点曲げ試験	Glass in building – Determination of the bending strength of glass — Part 3: Test with specimen supported at two points (four-point bending)	この規格は、主に建築物に使用する平板のソーダ石灰ガラスのエッジの影響を含む曲げ強度試験方法について規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 1 適用範囲 2 引用規格 3 用語及び定義 4 記号及び単位 5 装置及び器具 6 供試体 7 試験方法 8 算出方法 9 試験報告書		ISO 1288-3:2016, Glass in building—Determination of the bending strength of glass— Part 3: Test with specimen supported at two points (four point bending)(MOD)	板硝子協会	一般財団法人日本規格協会
6	JIS	制定		サービスエクセレンス—原則及びモデル	Service excellence—Principles and model	この規格は、卓越した顧客体験及び持続可能なカスタマーデライトを実現するためのサービスエクセレンスの用語、原則、及びモデルについて規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 1 適用範囲 2 引用規格 3 用語及び定義 4 サービスエクセレンスの重要性及び便益 5 サービスエクセレンスの原則 6 サービスエクセレンスモデル 7 サービスエクセレンスモデルの要素		ISO 23592:2021, Service excellence – Principles and model(IDT)	一般財団法人日本規格協会	一般財団法人日本規格協会

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記
 1: 意見及び異議受付期間は、令和3年4月1日～令和3年4月30日
 2: 区分aは、JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載
 3: 区分bは、制定、改正の別を記載
 4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格番号等	JIS規格原案等の名称	JIS規格原案等の英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	原案作成者
7	JIS	制定		サービスエクセレンス—卓越した顧客体験を実現するためのエクセレントサービスの設計	Service excellence— Designing excellent service to achieve outstanding customer experiences	この規格は、卓越した顧客体験を実現するエクセレントサービスを設計するための原則及び活動について規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 1 適用範囲 2 引用規格 3 用語及び定義 4 エクセレントサービスのための設計の原則 5 エクセレントサービスの設計活動		ISO/TS 24082:2021, Service Excellence — Designing excellent services to achieve outstanding customer experiences(MOD)	一般財団法人日本規格協会
8	JIS	制定		コーンカロリメーターによる建築材料の発熱速度及び煙生成速度を測定する試験方法	Heat release rate (cone calorimeter method) and smoke production rate (dynamic measurement) of building materials using a cone calorimeter	この規格は、外部の点火装置をもつ制御されたレベルの放射照度に水平に設置されて暴露された試験体の、発熱速度及び煙生成速度を評価する方法について規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 1 適用範囲 2 引用規格 3 用語及び定義 4 記号 5 原理 6 装置 7 試験に対する製品の適性 8 試験体の構造及び作製 9 試験環境 10 校正 11 試験手順 12 計算 13 試験報告書		ISO 5660-1:2015, Reaction-to-fire tests — Heat release, smoke production and mass loss rate — Part 1: Heat release rate (cone calorimeter method) and smoke production rate (dynamic measurement)*Amendment 1:2019(IDT)	一般社団法人日本建築材料協会
9	JIS	改正	B7071-1	光学及びフォトニクス—光学ガラスの屈折率測定方法—第1部:最小偏角法	Optics and photonics — Test method for refractive index of optical glasses — Part 1: Minimum deviation method	この規格は、365 nm～2 400 nmのスペクトル範囲において光学ガラスの屈折率を1 × 10 ⁻⁵ 以内の精度で測定する最小偏角法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・頂角の測定において、測定精度を向上させるため、オートコリメーション法へ改める。 ・規格全体において、頂角を示す記号“θ”を“α”に改める。 ・頂角の測定方法の具体的な手順を附属書として追加する。 ・最小偏角の測定方法の具体的な手順を附属書として追加する。		ISO 21395-1:2020, Optics and photonics — Test method for refractive index of optical glasses — Part 1: Minimum deviation method(IDT)	一般社団法人日本光学硝子工業会
10	JIS	改正	B6357	油圧用圧力補償付流量調整弁—取付面及び取付寸法	Hydraulic fluid power — Compensated flow-control valves — Mounting surfaces	この規格は一般機械に用いられる圧力補償付流量調整弁のうち、ガスケット取付形のものについて、その取付面及び取付寸法を規定する。	主な改正項目は、次のとおり。 箇条6(寸法):ユーザがわかりやすいように「呼び」から「識別コード」に変更する。 箇条7(ポート記号):箇条6と同様に「呼び」から「識別コード」に変更する。 箇条7(ポート記号):付表内のバルブ図記号を対応国際規格の改訂に伴い変更する。		ISO 6263:2013, Hydraulic fluid power — Compensated flow-control valves — Mounting surfaces(IDT)	一般社団法人日本フルードパワー工業会
11	JIS	改正	B8381-1	空気圧用継手—第1部:熱可塑性樹脂チューブ用プッシュイン継手	Connectors for pneumatic fluid power — Part 1: Push-in connectors for thermoplastic tubes	この規格は、外径2～16 mmの熱可塑性樹脂チューブ用プッシュイン継手の設計及び性能に関する、一般要求事項及び試験方法について規定する。	主な改正項目は、次のとおり。 ・箇条4(性能)、4.1(材料)及び4.2(圧力及び温)を統合し、箇条4(作動条件)に変更。 ・箇条6(チューブ外径):現状サイズに加え、1/8[in.]、1/4[in.]、3/8[in.]、1/2[in.]及び16[mm]を追加。 ・9.4(耐圧試験及び破壊圧試験)を(最大温度試験時の圧力)に変更。 ・9.4.2(装置)を、9.4.2(装置)、9.4.2.1(圧力源)及び9.4.2.2(温度容器)に分離。 ・9.4.3(手順)の9.4.3.1(耐圧試験)と9.4.3.2(破壊圧試験)を統合。 ・9.4.4(合否判定基準)の9.4.4.1(耐圧試験)と9.4.4.2(破壊圧試験)を統合。 ・9.5(接続力試験)を9.6に移動し、新たに9.5(耐圧試験と破壊圧力)を追加。 ・9.6(取外し力試験)を9.7に移動。 ・9.7(気密試験)を9.8に移動。 ・9.8(振動及び衝撃圧力耐久性試験)を9.9に移動。 ・上記箇条のサイズ追加に伴う、該当図表への数値追加。 ・日本実情を考慮しJFPS 2021-1(空気圧用継手—第1部:熱可塑性樹脂チューブ用プッシュイン継手)の規定項目の盛り込み—性能:ポリウレタンチューブ2種の追加、付属書JAの性能、試験方法を変更		ISO 14743:2020, Pneumatic fluid power — Push-in connectors for thermoplastic tubes(MOD)	一般社団法人日本フルードパワー工業会
12	JIS	改正	B9712	機械類の安全性—両手操作制御装置—設計及び選択原則	Safety of machinery devices — Principles for design and selection	この規格は、両手操作制御装置の安全要求事項及び制御操作者の手による操作に対する出力信号の依存関係について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・安全機能(箇条4及び箇条6) 対応国際規格の改訂に伴い、両手操作制御装置に求められる安全要求事項の指標を、従来のカテゴリから、ISO 13849-1に基づきPL(機能安全レベル(PL))又はIEC 62061に基づきシステムインテグリティレベル(SIL)に変更する。		ISO 13851:2019, Safety of machinery—Two-hand control devices—Principles for design and selection(IDT)	一般社団法人日本機械工業連合会

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記
 1: 意見及び異議受付期間は、令和3年4月1日～令和3年4月30日
 2: 区分aは、JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載
 3: 区分bは、制定、改正の別を記載
 4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格番号等	JIS規格原案等の名称	JIS規格原案等の英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	原案作成者	
13	JIS	改正	K6217-5	ゴム用カーボンブラック—基本特性—第5部:比着色力の求め方	Carbon black for rubber industry—Fundamental characteristics—Part 5: Determination of tinting strength	この規格は、ゴム用配合剤として用いるカーボンブラックの基本特性のうち、反射率計を用いた比着色力の求め方について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・原理において、比着色力基準カーボンブラック(ITRB)にはITRB1とITRB2がある旨を注記に記載。 ・試験において、ITRBには、ITRB1又はITRB2があり、どちらを基準として使用するかにより様々な差異が生じる可能性がある旨を記載。 ・ペーストの作製方法において、標準ペーストの役割とその作業の際に使用する検査線の定義を記載。 ・測定法手順において、デニングクロン法の記載を削除。 ・試験結果の求め方において、測定結果算出式の適用条件を詳しく記載。		ISO 5435:2017, Rubber compounding ingredients—Carbon black—Determination of tinting strength(MOD)	一般社団法人日本ゴム工業会	一般財団法人日本規格協会
14	JIS	改正	K6902	熱硬化性樹脂高圧化粧板試験方法	Testing method for laminated thermosetting high-pressure decorative sheets	この規格は、JIS K 6903で規定する熱硬化性樹脂高圧化粧板の試験方法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 1) 耐汚染性の汚染材料…A法の「トリクロロエタン、尿」を削除。「フェノールとクロロミンT消毒液」を「市販の消毒液」へ変更。B法の「2%マキユロクローム水溶液」及び「石炭酸」を削除。「トマトケチャップ」を追加。C法の「ガソリン又はナフサ」を「灯油」へ変更。 2) 引っかき硬さB法試験方法…サファイヤ針の試験を廃止し、鉛筆硬度試験へ変更。 3) 耐シガレット性…A法を削除。B法は、耐火膨れ性のC法に統合。 4) 寸法安定性の方法及び装置…A法として、250 mm×50 mmの試験片で測定する試験を追加。 5) 耐熱性の試験方法及び装置…B法として、ジメチルポリシロキサンオイルを加熱媒体に用いた試験を追加。 尚、試験方法が複数ある項目については、「ISOに対応する試験方法」を先に記載し、その後「日本の実情に沿った試験方法」をA法、B法、C法…というように記載する事とした。		ISO 4586-2:2018, High-pressure decorative laminates(HPL/HPDL)—Sheets based on thermosetting resins (Usually called Laminates)—Part 2: Determination of properties(MOD)	日本プラスチック工業連盟	一般財団法人日本規格協会
15	JIS	改正	K6903	熱硬化性樹脂高圧化粧板	Laminated thermosetting high-pressure decorative sheets	この規格は、熱硬化性樹脂高圧化粧板について規定する。 この規格は、性能及び主用途(材料特性、例えば、ポストフォーミング性又は耐火性を含む。)によって、高圧化粧板の種類を規定する。 この規格は、この体系で分類される高圧化粧板の特性についての要求事項を規定する。	主な改正点は、次のとおり。 1) 品質特性に対する要求項目の一覧表「品質」…耐シガレット性を削除。引っかき硬さB法、曲げ成形性A法及びB法、耐熱B法の規格値を変更。耐熱C法の規格値を追加。 2) 高圧化粧板のタイプ及び性能による区分…「性能種類」7項目→4項目へ変更。		ISO 4586-3:2018, High-pressure decorative laminates (HPL, HPDL)—Sheets based on thermosetting resins (Usually called Laminates)—Part 3: Classification and specifications for laminates less than 2 mm thick and intended for bonding to supporting substrates ISO 4586-4:2018, High-pressure decorative laminates (HPL, HPDL)—Sheets based on thermosetting resins (Usually called Laminates)—Part 4: Classification and specifications for compact laminates of thickness 2 mm and greater(MOD)	日本プラスチック工業連盟	一般財団法人日本規格協会
16	JIS	改正	K7201-1	プラスチック—酸素指数による燃焼性の試験方法—第1部:一般要求事項	Plastics—Determination of burning behaviour by oxygen index—Part 1: General requirements	この規格は、JIS K 7201-2及びJIS K 7201-3で次のように規定している、酸素指数(OI)試験方法の一般要求事項について規定する。 — JIS K 7201-2は、規定の条件下で材料が最小限の燃焼を維持するのに必要な酸素の最小体積分率を温度23℃±2℃における酸素及び窒素の混合ガスの容量パーセントで表すための試験方法を規定している。 — JIS K 7201-3は、一般的な温度領域である25℃を超えて150℃までの温度条件下(400℃までの温度に適用してもよい。)における酸素指数(OI)の試験方法を規定している。	主な改正点は、次のとおり。 ・名称を規格の内容に照し、「第1部:通則」を“第1部:一般要求事項”に変更する。 ・酸素体積分率の測定が必須となったため、また定義を明確にするため「用語及び定義」の箇条を設け、「酸素指数」及び「限界酸素指数」を追加する。 ・ガス流について、試験円筒内のガス流速が40 mm/sと低速であることから、熱線式流速計などによる実測は現実的ではないため、流速は体積流量からの計算によるものであることを明確にする。		ISO 4589-1:2017, Plastics—Determination of burning behaviour by oxygen index—Part 1: General requirements(IDT)	日本プラスチック工業連盟	一般財団法人日本規格協会
17	JIS	改正	K7201-2	プラスチック—酸素指数による燃焼性の試験方法—第2部:室温における試験	Plastics—Determination of burning behaviour by oxygen index—Part 2: Ambient-temperature test	この規格は、規定の試験条件下において、窒素と酸素との混合ガス中で、垂直の小試験片が燃焼を維持する最小酸素体積分率を測定する方法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・試験装置において、試験に使用する酸素/窒素混合気の酸素濃度を正確に制御するために、酸素分析計の使用を規定し、混合ガスに対し0.1%の分解能で設定でき、混合ガスに $\pm 0.2\%$ の精度で体積分率を調整できるものとする。また、着火用火炎の大きさ及び測定器の校正時期を明確に規定する。 ・測定手順において、試験片への着火炎の接炎方法を明確にするとともに、着火の判断方法を明確に規定する。 ・試験結果の計算及び表示において、試験の再現性を示す標準偏差の計算方法を規定する。 ・装置の機能点検方法において、標準物質による点検方法を規定する。		ISO 4589-2:2017, Plastics—Determination of burning behaviour by oxygen index—Part 2: Ambient-temperature test(IDT)	日本プラスチック工業連盟	一般財団法人日本規格協会
18	JIS	改正	K7201-3	プラスチック—酸素指数による燃焼性の試験方法—第3部:高温における試験	Plastics—Determination of burning behaviour by oxygen index—Part 3: Elevated-temperature test	この規格は、温度25℃～150℃の酸素と窒素との混合ガスの規定試験条件下において、垂直小試験片が燃焼を維持する最小酸素体積分率の求め方について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・適用範囲において、適用しない試験片を記載し明確にする。 ・用語及び定義において、内容をより適切に表現するため「高温における酸素指数(oxygen index at elevated temperature)」を“温度指数、TI(temperature index)”に変更する。 ・試験装置において、JIS K7201-2の試験装置の構成を引用し、また、酸素分析計の使用を規定するとともに試験片の形態に応じた試験片ホルダの規定を明確にする。		ISO 4589-3:2017, Plastics—Determination of burning behaviour by oxygen index—Part 3: Elevated-temperature test(IDT)	日本プラスチック工業連盟	一般財団法人日本規格協会

JIS原薬等パブリックコメント実施リスト

注記
 1: 意見及び異議受付期間は、令和3年4月1日～令和3年4月30日
 2: 区分aは、JIS規格原薬又はTS原薬若しくはTR原薬の別を記載
 3: 区分bは、制定、改正の別を記載
 4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格番号等	JIS規格原薬等の名称	JIS規格原薬等の英名称	JIS規格原薬等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	原薬作成者
19	JIS	改正	K8042	アニリン(試薬)	Aniline(Reagent)	この規格は、試薬として用いるアニリンについて規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・試験方法(箇条6) 水分(6.5)で使用している溶剤類を適切な溶剤に変更する。	(無)		一般社団法人日本試薬協会 一般財団法人日本規格協会
20	JIS	改正	K8105	エチレングリコール(試薬)	Ethylene glycol(Reagent)	この規格は、試薬として用いるエチレングリコールについて規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・試験方法(箇条6) 強熱残分(硫酸塩)(6.5)を削除するか又は硫酸を使用しない方法に変更する。	(無)		一般社団法人日本試薬協会 一般財団法人日本規格協会
21	JIS	改正	K8150	塩化ナトリウム(試薬)	Sodium chloride(Reagent)	この規格は、試薬として用いる塩化ナトリウムについて規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・試験方法(箇条7) カリウム(K)(7.10)を蛍光光度法から原子吸光分析法に変更する。	ISO 6353/2:1983.Reagents for chemical analysis-Part 2-First series-R32 Sodium chloride(MOD)		一般社団法人日本試薬協会 一般財団法人日本規格協会
22	JIS	改正	K8163	ヘキサクロロ白金(IV)酸カリウム(試薬)	Potassium hexachloroplatinate(Reagent)	この規格は、試薬として用いるヘキサクロロ白金(IV)酸カリウムについて規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・試験方法(箇条6) 純度[6.1]]及び他の重金属(Pbとして)[6.5]]で使用する磁器を、つばを石英ガラス製のものに変更する。	(無)		一般社団法人日本試薬協会 一般財団法人日本規格協会
23	JIS	改正	K8223	過塩素酸(試薬)	Perchloric acid(Reagent)	この規格は、試薬として用いる過塩素酸について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・試験方法(箇条6) 銅(Cu)、銀(Ag)、鉛(Pb)、マンガン(Mn)及び鉄(Fe)(3.10)で使用するマンガン標準液を硝酸を用いた調製方法のものに変更する。	ISO 6353-2:1983. Reagents for chemical analysis - Part 2: Specifications - First series R21 Perchloric acid(72 %)(MOD)		一般社団法人日本試薬協会 一般財団法人日本規格協会
24	JIS	改正	K8361	酢酸エチル(試薬)	Ethyl acetate (Reagent)	この規格は、試薬として用いる酢酸エチルについて規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・適用範囲に警告を追加する。 ・硫酸着色物質(7.12)を硫酸と混和する記述に変更する。	ISO 6353-3:1987. Reagents for chemical analysis-Part 3: Specifications - Second series. R62 Ethyl acetate(MOD)		一般社団法人日本試薬協会 一般財団法人日本規格協会
25	JIS	改正	K8464	シクロヘキサン(試薬)	Cyclohexane (Reagent)	この規格は、試薬として用いるシクロヘキサンについて規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・品質(箇条5) 凝固点の規格値を“6.5~7.5”から“6.0~7.0”に変更する。	ISO 6353-2:1983. Reagents for chemical analysis - Part 2: Specifications - First series. R 10 Cyclohexane(MOD)		一般社団法人日本試薬協会 一般財団法人日本規格協会
26	JIS	改正	K8529	臭素(試薬)	Bromine(Reagent)	この規格は、試薬として用いる臭素について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・試験方法(箇条6) 水溶法(6.3)の試料量を溶解度に合わせ、1.0 gから0.5 gに変更する。文献溶解度は、3.13 g/100 L(30 °C)。	ISO 6353-3:1987. ISO 6353-3:1987.Reagents for chemical analysis-Part 3:Specifications-Second series R51 Bromine(MOD)		一般社団法人日本試薬協会 一般財団法人日本規格協会
27	JIS	改正	K8565	硝酸バリウム(試薬)	Barium nitrate (Reagent)	この規格は、試薬として用いる硝酸バリウムについて規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・試験方法(箇条6) 塩化物(Cl)(4)の試験方法で、試料量及び加える硝酸量を変更し、試料液が濁った場合のろ過操作を加える。 ・試験方法(箇条6) 鉛(Pb)(9)及び鉄(Fe)の試験方法を、抽出原子吸光分析法から直接原子吸光分析法に変更する。	(無)		一般社団法人日本試薬協会 一般財団法人日本規格協会
28	JIS	改正	K8615	炭酸カリウム(試薬)	Potassium carbonate (Reagent)	この規格は、試薬として用いる炭酸カリウムについて規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・試験方法(箇条6) 塩化物(Cl)(7.7)の試験方法で、pH調節方法を変えるか、又はpH調節の必要のない試験方法(ACSの試験方法)に変更する。 ・試験方法(箇条6) ナトリウム(Na)の試験方法を、蛍光光度法から原子吸光分析法に変更する。	ISO 6353-3:1987. Reagents for chemical analysis-Part3: Specifications-Second series R76 Potassium carbonate(MOD)		一般社団法人日本試薬協会 一般財団法人日本規格協会
29	JIS	改正	K8621	炭酸水素カリウム(試薬)	Potassium hydrogen carbonate (Reagent)	この規格は、試薬として用いる炭酸水素カリウムについて規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・試験方法(箇条6) ナトリウム(Na)(6.9)の試験方法を、蛍光光度法から原子吸光分析法に変更する。	(無)		一般社団法人日本試薬協会 一般財団法人日本規格協会
30	JIS	改正	K8622	炭酸水素ナトリウム(試薬)	Sodium hydrogen carbonate (Reagent)	この規格は、試薬として用いる炭酸水素ナトリウムについて規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・試験方法(箇条7) カリウム(K)(7.110)の試験方法を、蛍光光度法から原子吸光分析法に変更する。	ISO 6353-3:1987. Reagents for chemical analysis - Part 3:Specifications - Second series R 89 Sodium hydrogen carbonate(MOD)		一般社団法人日本試薬協会 一般財団法人日本規格協会
31	JIS	改正	K8721	4-ニトロフェノール(試薬)	4-Nitrophenol (Reagent)	この規格は、試薬として用いる4-ニトロフェノールについて規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・試験方法(箇条6) 純度(GC)(1)の試験方法に、キャピラリーカラムの測定条件を追加する。 ・変色範囲(pH)の試験で、pH6.2の試料を削除する。	(無)		一般社団法人日本試薬協会 一般財団法人日本規格協会

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記
 1: 意見及び異議受付期間は、令和3年4月1日～令和3年4月30日
 2: 区分aは、JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載
 3: 区分bは、制定、改正の別を記載
 4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格番号等	JIS規格原案等の名称	JIS規格原案等の英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	制定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	原案作成者	
32	JIS	改正	K8802	ヘキサシアニド鉄(Ⅱ)酸カリウム三水和物(試薬)	Potassium hexacyanoferrate(Ⅱ) trihydrate (Reagent)	この規格は、試薬として用いるヘキサシアニド鉄(Ⅱ)酸カリウム三水和物について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・試験方法(箇条6) 硫酸塩(SO4)(7.5)の試験方法で、使用する酸を塩酸から酢酸に変更し、エタノール(95)を削除する。 ・名称をヘキサシアニド鉄(Ⅱ)酸カリウムに変更する。		ISO 6353-3:1987, Reagents for chemical analysis-Part 3:Specifications-Second series:R80 Potassium hexacyanoferrate(Ⅱ) trihydrate(MOD)	一般社団法人日本試薬協会	一般財団法人日本規格協会
33	JIS	改正	K8863	ほう酸(試薬)	Boric acid (Reagent)	この規格は、試薬として用いるほう酸について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・定性方法(5.2 a) に記述するクルクマ試験紙をクルクマ試験紙(ターメリック試験紙又はクルクミン試験紙とも言う。)に変更する。 ・ひ素(7.11)の試験で、試料の溶解時に加熱溶解を許容する。		ISO 6353-3:1987, Reagents for chemical analysis-Part 3:Specification-Second series R 50 Boric acid(MOD)	一般社団法人日本試薬協会	一般財団法人日本規格協会
34	JIS	改正	K8987	硫酸ナトリウム(試薬)	Sodium sulfate (Reagent)	この規格は、試薬として用いる硫酸ナトリウムについて規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・試験方法(箇条7) カリウム(K)(7.10)を蛍光光度法から原子吸光分析法に変更する。		ISO 6353-2:1983, Reagents for chemical analysis-Part 2:Specification-Second series R 35 Sodium sulfate, anhydrous(MOD)	一般社団法人日本試薬協会	一般財団法人日本規格協会
35	JIS	改正	M8124	鉱石中の亜鉛定量方法	Ores-Methods for determination of zinc	この規格は、鉱石中の亜鉛定量方法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・引用規格(箇条2)において、前回の改正以降の規格の改廃に対応して、変更する。 ・定量方法(箇条6)において、ICP発光分光分析法の詳細を新たに追加する。 ・カドミウム定量方法(附属書)において、新たに制定された国際規格で採用された方法(原子吸光法及びICP法)を追加する。		ISO 12739:2006, Zinc sulfide concentrates-Determination of zinc-Ion-exchange/EDTA titrimetric method ISO 13291:2006, Zinc sulfide concentrates-Determination of zinc-Solvent extraction and EDTA titrimetric method ISO 13658:2000, Zinc sulfide concentrates-Determination of zinc content-Hydroxide precipitation and EDTA titrimetric method(MOD)	日本鉱業協会	一般財団法人日本規格協会
36	JIS	改正	M8132	鉱石中のひ素定量方法	Ores-Methods for determination of arsenic	この規格は、鉱石中のひ素定量方法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・引用規格(箇条2)において、前回の改正以降の規格の改廃に対応して、変更する。 ・定量方法(箇条5)において、国際規格が新たに制定及び制定途中の4つの試験方法(水酸化鉄共沈-ICP法が2つ、直接ICP法が2つ)を追加するとともに、現在使用されていない方法(滴定法、原子吸光法及び吸光度法)を削除する。 ・分析用試料の吸着水分の測定方法(附属書)において、対応国際規格に制定させて新たに規定内容を追加する。		ISO 13547-1:2014, Copper, lead, zinc and nickel sulfide concentrates-Determination of arsenic-Part 1: Iron hydroxide concentration and inductively coupled plasma atomic emission spectrometric method ISO 13547-2:2014, Copper, lead, zinc and nickel sulfide concentrates-Determination of arsenic-Part 2: Acid digestion and inductively-coupled plasma atomic emission spectrometric method(MOD)	日本鉱業協会	一般財団法人日本規格協会
37	JIS	改正	M8135	鉱石中のカドミウム定量方法	Ores-Methods for determination of cadmium	この規格は、鉱石中のカドミウム定量方法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・引用規格(箇条2)において、前回の改正以降の規格の改廃に対応して、変更する。 ・定量方法(箇条5)において、新たに制定された対応国際規格で採用された方法(原子吸光法及びICP法)を追加する。 ・分析用試料の吸着水分の測定方法(附属書)において、対応国際規格に制定させて新たに規定内容を追加する。		ISO 19976-1:2019, Copper, lead and zinc sulfide concentrates-Determination of cadmium-Part 1: Flame atomic absorption spectrometric method ISO 19976-2:2019, Copper, lead and zinc sulfide concentrates-Determination of cadmium-Part 2: Acid digestion and inductively-coupled plasma atomic emission spectrometric method(MOD)	日本鉱業協会	一般財団法人日本規格協会
38	JIS	改正	R2115	耐火物の通気率の試験方法	Testing method for permeability to gases of refractory products	この規格は、定形耐火物及び不定形耐火物の通気率の試験方法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・通気率試験装置(5.1)において、最新の試験装置に適用できるように変更する。 ・操作(箇条7)において、最新の試験装置に適用できるように操作方法を変更する。 ・計算(箇条8)において、最新の試験装置の改良部品に対応するため、計算方法を変更する。		ISO 8841:1991, Dense, shaped refractory products-Determination of permeability to gases(MOD)	耐火物技術協会	一般財団法人日本規格協会
39	JIS	改正	R3221	光学薄膜付きガラス	Optical coated glass	この規格は、主に建築用に使用する光学薄膜付きガラスについて規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・適用範囲(箇条1)において、従来の熱線反射ガラスに加え、市場の実態を踏まえて低放射ガラス及び低反射ガラスを適用範囲に追加する。 ・用語の定義(箇条3)において、市場のニーズの多様化に対応して、欠点についての用語の定義を追加する。 ・性能(箇条4)において、外観の管理基準を明確にし、定量的な規定に改めると共に、外観欠点を細分化した規定に変更する。 ・試験方法(箇条5)において、外観検査の方法をより具体的な規定に変更する。		ISO 11479-1:2011, Glass in building - Coated glass - Part 1: Physical defects ISO 11479-2:2011, Glass in building - Coated glass - Part 2: Colour of façade(MOD)	板硝子協会	一般財団法人日本規格協会
40	JIS	改正	R6251	研磨布	Abrasive cloths	この規格は、主に金属、木材及びプラスチックの研削・研磨加工に使用する研磨布について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・適用範囲(箇条1)において、ディスク状研磨布を追加し、それに対応したISO規格を対応国際規格に追加する。 ・引用規格(箇条2)において、引用規格の改正に従って、引用規格の名称を変更する。 ・種類(箇条3)において、研磨布として流通していないガーネットを削除する。 ・品質(箇条4)寸法及び寸法許容差(箇条5)及び材料(箇条6)において、ディスク状研磨布を取り込んだ規定に変更する。 ・材料(箇条6)において、研削研磨材の種類からガーネットを削除する。		ISO 3366:1999, Coated abrasives-Abrasive rolls ISO 21948:2001, Coated abrasives-Plain sheets ISO 21950:2001, Coated abrasives-Plain discs(MOD)	研削砥石工業会	一般財団法人日本規格協会

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記
 1: 意見及び異議受付期間は、令和3年4月1日～令和3年4月30日
 2: 区分aは、JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載
 3: 区分bは、制定、改正の別を記載
 4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格番号等	JIS規格原案等の名称	JIS規格原案等の英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	原案作成者
41	JIS	改正	R6252	研磨紙	Abrasive papers	この規格は、主に金属、木材及びプラスチックの研削・研磨加工に使用する研磨紙について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・適用範囲(箇条1)において、ディスク状研磨紙を追加し、それに対応したISO規格を対応国際規格に追加する。 ・引用規格(箇条2)において、引用規格の改正に従って、引用規格の名称を変更する。 ・種類(箇条3)において、研磨紙として流通していない、けい石を削除する。 ・品質(箇条4)寸法及び寸法許容差(箇条5)及び材料(箇条6)において、ディスク状研磨紙を取り込んだ規定に変更する。 ・材料(箇条6)において、研削研磨材の種類から、けい石を削除する。	ISO 3366:1999, Coated abrasives—Abrasive rolls ISO 21948:2001, Coated abrasives—Plain sheets ISO 21950:2001, Coated abrasives—Plain discs(MOD)	研削砥石工業会 一般財団法人日本規格協会	
42	JIS	改正	R6253	耐水研磨紙	Waterproof abrasive papers	この規格は、主に塗装面の研磨加工に使用する耐水研磨紙について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・適用範囲(箇条1)において、ディスク状耐水研磨紙を追加し、それに対応したISO規格を対応国際規格に追加する。 ・引用規格(箇条2)において、引用規格の改正に従って、引用規格の名称を変更する。 ・品質(箇条4)寸法及び寸法許容差(箇条5)及び材料(箇条6)において、ディスク状耐水研磨紙を取り込んだ規定に変更する。	ISO 3366:1999, Coated abrasives—Abrasive rolls ISO 21948:2001, Coated abrasives—Plain sheets ISO 21950:2001, Coated abrasives—Plain discs(MOD)	研削砥石工業会 一般財団法人日本規格協会	